

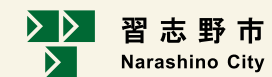
ALL ABOUT
NARASHINO
CITY



NARASHINO CITY



ご当地キャラクター
ナラシド♪



発行：習志野市
2024（令和6）年4月
〒275-8601 千葉県習志野市鷺沼 2-1-1
TEL：047-451-1151（代表）
URL：<https://www.city.narashino.lg.jp/>

発刊によせて

ようこそ習志野市へ。

昭和 29 年 8 月に、千葉県北西部の湾岸に船橋市と千葉市の間に誕生した習志野市は、東西 9 km、南北 6 km、面積は約 21 km²と県内 37 市で 2 番目に小さいながらも、人口は 9 番目に多い約 17 万 5 千人と、市民一人ひとりの顔が見え、市民の声が届きやすい人口密度が 3 番目に高い都市（約 8,400 人 / km²）です。

JR 津田沼駅を擁し、東京駅へ最短 28 分と利便性も高く、市内全ての住宅が最寄りの駅まで直線距離で 2 km 以内と近く、バス停も 500 m 以内にあります。

昭和 45 年に制定された「文教住宅都市憲章」を基本理念とし、都市と自然が調和したまちづくりを目指して、今日まで歩んでまいりました。

この市勢要覧を通じて、本市の今を知っていただき、ともに魅力あるまち“習志野”をつくるためにお力添えを賜れば幸いに存じます。

習志野市長 **宮本 泰介**



市の木 アカシア



市の花 アジサイ

目次

- 02 発刊によせて
- 03 音楽
- 05 スポーツ
- 07 子育て
- 09 **特集【憲章・宣言】**
- 13 教育
- 15 安全・安心
- 17 健康・福祉
- 18 利便性
- 19 自然
- 21 歴史
- 22 **習志野エトセトラ**





音楽

音楽のまち習志野

習志野は音楽のまち。1951年、NHKラジオで津田沼町立第一中学校（現第一中学校）の合奏部が「スクールオーケストラ発祥の地」として放送されたことでも知られています。2000年から続く「ならしの学校音楽祭」は、当該年度における全国・関東・県大会で好成績を収めた市立小・中学校、高校が、管弦楽・吹奏楽・合唱・アンサンブルなど様々な形態の音楽を、高いレベルで市民の皆さんに披露する場として、毎年多くの方々が来場。「このコンサートに出演するんだ！」という目標が大きなきな励みとなっています。このコンサートが存在こそが「音楽のまち習志野」を支える原動力です。

伝統の美爆音

市民の誇りで、全国的に知名度が高い市立習志野高校吹奏楽部。毎年、各種音楽コンクールで優秀な成績を収め、野球の応援での演奏は「美爆音」として有名です。大音量でも音が割れない秘密は低音より難しい高音を響かせる技術。正しい操法で楽器を無理なく鳴らし、さらに1オクターブ上の音を重ねることで圧倒的に美しい習高サウンドを作り上げています。

子どもから大人まで

全国最強の小学校オーケストラと言われるのが「谷津小学校管弦楽クラブ」。1954年の創立以来、何度も日本一に輝いています。その他、市にゆかりのあるプロが集結した「習志野シンフォニエッタ千葉」やアマチュア・オーケストラとして歴史がある「習志野フィルハーモニー管弦楽団」、「ウインドミルオーケストラ」があり、市内に6つある公民館では地域ごとに特色ある音楽会が開催されています。また、市役所にあるハミング階段でもコンサートを開催。市役所駐車場では、バンドフェスティバル・マーチングコンテストの全国大会の予行演奏を兼ねた激励会を開催するなど、習志野では子どもから大人まで音楽に親しんでいます。



大久保小学校
全国大会に向け予行演奏と激励会を市役所駐車場で開催



ならしの学校音楽祭 合唱と管弦楽がホールいっぱいに壮大な響きを奏でたグランドフィナーレ



▲レッツゴー習志野・オフィシャルミュージックビデオ

「美爆音」と称される迫力ある習高サウンドをお楽しみください。



市役所ハミング階段
伝統文化お琴・三絃親子教室による新春コンサート



習志野高校吹奏楽部が千葉ロッテマリーンズの応援に参加



第一中学校管弦楽部（日本学校合奏コンクール）



読売巨人軍発祥の地の記念碑



スポーツ

市立習志野高校の躍進

スポーツも盛んなまち、習志野。その代名詞は市立習志野高校です。甲子園に数多く出場し、その名を全国に轟かせている硬式野球部はもちろん、男女同時での「春高バレー」出場を38年ぶりに果たしたバレーボール部やウィンターカップに出場経験のあるバスケットボール部、世界チャンピオンを続々と輩出するボクシング部、五輪選手も輩出した体操部をはじめ、柔道部、サッカー部、女子ソフトボール部なども全国的な強さを誇ります。

生涯スポーツの推進

市民の健康・増進、地域コミュニティづくりのために生涯スポーツを推進しています。スポーツ推進委員が主体となってウォーキングやニュースポーツ等のイベントを年5回開催し、市全体のスポーツを支えています。

さらに、各小学校区には市民スポーツ指導員があり、誰でも気軽にスポーツに親しむことができるよう、各種イベントを開催する等、身体を動かす機会を提供しています。

愛されるプロスポーツ

1995年に市内に部屋を構え、期待の阿武咲(おのしょう)関を擁する大相撲の「阿武松(おのまつ)部屋」やこれまで8度日本一に輝き、2013年には「習志野市民栄誉賞」を受賞したアメリカンフットボールの社会人クラブチーム「オービックス・ガルス」もあります。

歴史的な記念碑

谷津バラ園の入口にあるのが野球ファンにはおなじみ「読売巨人軍発祥の地の記念碑」。日本野球の聖地・名所150選に選ばれました。1934年にベーブ・ルースら全米チームと全日本チームが谷津球場で練習を行いました。その全日本チームが元となり、読売巨人軍が誕生したことを記念したものです。

この他、スポーツ関連施設も充実。茜浜にある「千葉県国際総合水泳場」では国際大会や全国大会が開催されています。



6月上旬頃開催されるオール習志野歩け歩け大会



子どもからお年寄りまで気軽に楽しめるニュースポーツ「ドッチビー」



市民まつりで大人気! 阿武松部屋の力士たち



ニュースポーツの「ボッチャ」はユニバーサルスポーツ交流会で人気



オービックス・ガルスと相互連携・支援協力に関する協定を締結



充実のスポーツ施設も市の魅力の一つ! 東部体育館のクライミングウォール



▲市内スポーツ施設一覧



男子バレーボール部は、2023年の春高バレーで全国3位!!



世界大会でも活躍中のボクシング部



2024年は女子バレーボール部も春高バレーに出場



子育て

切れ目のない支援

本市では、妊娠・出産・子育て期を通して切れ目のない支援を行っています。「妊娠届出」時には必ず保健師などが妊婦・パートナーと面接、個々の状況に応じた助言をし、今後の子育ての見通しが持てるように支援しています。

妊娠中の「ママ・パパになるための学級」や相談支援、出産後の「新生児訪問」、生後2か月頃の母子保健推進員の全戸訪問の他、健康相談や家庭訪問などを通じて地区担当保健師が随時相談に応じる体制をとっています。

また、こども家庭センター業務では、母子保健と児童福祉の一体的な相談支援体制を強化しています。

充実のサポート

たまにはリフレッシュしたい……。そんな時は、お子さんを一時的に預かる「ファミリー・サポート・センター」へ。地域で支え合う仕組みです。

子どもと保護者が自由に遊び交流できるこどもセンター等には「子育て支援コンシェルジュ」を配置し、

子育て家庭の悩みや困りごとを相談できます。

その他、病児・病後児保育、外出先で授乳やおむつ交換ができる子育て応援ステーション、産後ケア事業など、充実したサポートをご用意しています。

また、子育て親子が気軽に集いのびのびと外遊びができるプレーパークも随所で開催中。

健やかな成長を応援

妊娠中・子育て中の人に役立つ各種サービスや施設などの細かな情報をまとめた「ならしの子育てハンドブック」を毎年作成。

さらに、子育ての今と昔の比較や、成長に合わせた孫との関わり方、今どきの育児などをわかりやすく解説した「ならしの孫育てハンドブック」を発行しています。

このように、本市は「子どもの健やかな成長をみんなのやさしさで支えるまち」として、地域・行政が一体となって子育てを応援しています。

孫育てハンドブック

確認しておこう!! 子育ての今と昔、何が変わった?

昔	今
抱っこ 泣いたらすぐに抱くと「抱きすぎ」がつくので、少し泣かせておく。	泣いたら、抱っこしても構いません。信頼関係を築く第一歩。抱きすぎは気にせず、抱っこしてあげます。
授乳 おっぱいよりもミルク。母乳なら3時間おきに授乳をする。	まずはおっぱいトライ。足りなければ、ミルクを足す(状況に応じて)。母乳の場合は、あかちゃんがほしがったら、授乳を。
うつぶせ寝 顔の形がよくなる、よく寝る。	乳幼児突然死症候群を発症する可能性があるため、寝かせるときは仰向け。うつぶせにするときは、目を離さない。
日光浴 くる病予防のために、足先から日光浴をする。	産後1か月以降でOKがでたら、紫外線が強い時間帯を避け、ベランダに出る。家の周りを散歩するなど、外気浴をする。
水分補給 お風呂上がり、お散歩から戻ったら、白湯で水分補給をする。	水分補給は母乳またはミルクでよい。必要に応じて白湯かノンカフェインのものも可。果汁は不要。離乳食開始は5〜6か月頃から。
むし歯 自分の舌で餌に食べ物を舐めたり、自分の口でかみ砕いて与える。	あかちゃんの口の中には、むし歯菌はいない。大人の口、箸などからうつるので、箸やスプーンは別に子ども用かとりわけ用。

子育ての今と昔の比較や、成長に合わせた孫との関わり方、今どきの育児などをわかりやすく解説しています。

【子どもと保護者を守る児童虐待防止への取り組み】

「習志野市児童虐待防止のための通告及び安全確認等への対応指針」を策定。児童虐待を防止するため、早期発見や適切な対応、安全の確認が困難な子どもへの対応に関する基本的事項を定めました。特に、職員が業務等の情報により早期発見に取り組むことを定めています。



▲オービックシーガルズと市のコラボレーションで啓発動画を作成。習志野市公式 YouTube で配信中。



こどもセンターでは、子どもと楽しめる遊びや、イベントも盛りだくさんです。



生後2か月頃の母子保健推進員による家庭訪問



生涯学習複合施設プラッツ習志野では「ならしのプレーパーク」を開催。「子どもたちが遊びをつくる場」というコンセプトで実施しています。



ファミリー・サポート・センターで預ける前の入念な打合せ。こどもセンターでの一時預かりもできます。

核兵器廃絶平和都市宣言

わたくしたち習志野市民は、文教住宅都市憲章を定め、生存と安全をまちづくりの基本とした。
わたくしたち習志野市民は、我が国が世界唯一の核被爆国として被爆の恐ろしさと、被爆者の苦しみを全世界の人々に訴え続けるとともに、再び地球上に広島、長崎の、あの惨禍が繰り返されることのないよう、恒久平和を強く願うものである。

わたくしたち習志野市民は、非核三原則の完全実施を願い、平和を愛する世界の人々と共に、恒久平和を実現することを決意し、核兵器廃絶平和都市をここに宣言する。

(昭和 57 年 8 月 5 日宣言)



【制定の背景】

安全な市民生活を守るという究極の目標を貫くため、憲法の理念であり、人類の最も素朴な願いである恒久平和の実現と、核による惨禍を繰り返さないことを願い、千葉県内で初めて宣言しました。

本市では毎年、原爆死没者慰霊および平和祈念式典を開催し、世界の恒久平和を願い市内全域に黙とうを呼び掛けています。

秋津公園内にある平和の広場。平和への願いを込め、非核三原則を表す三角形をモチーフにしてデザインされています。

健康なまち習志野宣言

わたくしたち習志野市民は、生涯にわたる健康で幸せな生活を希求し、実現し、未来につなげていくことを誓い、ここに「健康なまち習志野」を宣言します。

- 1 わたくしたち習志野市民は、一人ひとりが自ら健康への意識を高め、主体的に行動します。
- 1 わたくしたち習志野市民は、連携・協力しながら、笑顔で健康に暮らします。
- 1 わたくしたち習志野市民は、あらゆる分野において、健康を支え守る社会環境をととのえます。

(平成 26 年 11 月 1 日宣言)

【制定の背景】

平成 25 年 4 月 1 日に施行された「(通称) 習志野市健康なまちづくり条例」の趣旨を更に周知するために宣言しました。からだ・心・歯の健康づくりを推進し、地域社会全体で個人の健康を支え守るための社会環境の整備に取り組むまちづくりを進めようとする本市の意思を子どもから高齢者までわかりやすく表現したものです。

習志野市文教住宅都市憲章

わたくしたち習志野市民は、わたくしたちおよび次の世代をになう子どもたちのために、静かな自然をまもり育てていかなければなりません。

それは、教育および文化の向上をささえるまちづくりの基盤ともなるものであり、健康で快適な生活を営むために欠くことのできない基本的な条件だからです。

しかし、人間はすぐれた文明をつくりだすいっぽう、自然を破壊し、わたくしたちの生命、身体をむしばみ、教育および文化の正常な発展を阻害していることも事実です。

そこで、わたくしたち習志野市民は、ひとりびとりの理解と協力のもとに、創意工夫し、たゆまぬ努力をつづけながら、理想とするまちづくりのために次のことを宣言し、この憲章を定めます。

- 1 わたくしたち習志野市民は、青い空と、つややかな緑をまもり、はつらつとした若さを失わないまちをつくります。
- 1 わたくしたち習志野市民は、暖かい生活環境をととのえ、住みよいまちをつくります。
- 1 わたくしたち習志野市民は、教育に力をそそぎ、すぐれた文化をはぐくむ調和のとれたまちをつくります。

(前文)

(昭和 45 年 4 月 1 日公布・9 月 30 日施行)

【制定の背景】

時は、高度経済成長期、人口は急増し、京葉港の開発など急激な工業ラッシュによる公害が社会問題でした。そんな時代背景を受けて、物質優先の開発から生活の場を守るために人間優先という理念で公害防止条例とともに制定されました。単に教育、福祉、環境を重視した市政の方針ではなく、住民自治に対する信念、そして地方分権と協働を先取りする思想であり、自主・自立のまちづくり宣言と言えます。

本市の憲章は「文教都市」に「住宅」という言葉が加わる点がユニークです。本市は、憲章を不変のまちづくりの基本理念として定め、今日に至っています。

本市では、「習志野市文教住宅都市憲章」を定めまちづくりの基本理念としています。その他にも重要な政策課題などに対して、市の意思や主張、方針を明らかにするためにさまざまに「まな都市宣言」を制定しています。

まちを取り巻く状況は、日々変化しています。本市では、時代の変化に的確に対応しながら、教育、福祉、保健、都市基盤の更なる充実に向け、市政と市民が力を合わせ、都市と自然が調和のとれたまちづくりをめざしています。

習志野市パートナーシップ・ファミリーシップ制度

本市では、家族のあり方が変化している状況を踏まえ、地域における多様性と暮らしやすさの保証につなげるために「習志野市パートナーシップ・ファミリーシップ制度」を定めています。



パートナー宣言証



パートナーシップ・ファミリーシップ制度応援ステッカー

【制度の背景】

単身世帯の高齢者やひとり親世帯、LGBTカップルや事実婚カップルなど、家族のあり方が多様化しています。

地域における多様性と暮らしやすさの保障につなげるパートナーシップ・ファミリーシップ制度を令和4年6月から開始しました。

この制度には法的拘束力はありませんが、多様な生き方が尊重されるまちづくりを実現したいという思いが詰まっています。

Q. パートナーシップ・ファミリーシップとは？

パートナーシップは、同居し、共同生活においてお互いを人生のパートナーとし、家族として対等な立場で、責任をもって協力すると約束した2人の関係を言います。

また、パートナーシップにあたる2人と同居する未成年の子どもが家族として生活する関係をファミリーシップといます。

Q. どんなことができるの？

市営住宅の入居や市営霊園の承継など、一定の行政サービスにおいて家族と同様の取り扱いがされます。

民間サービスでは、医療機関での患者の家族としての受け入れ、携帯電話の家族割などの活用が期待されます。今後も利用できる制度が増えるよう働きかけを進めています。

交通安全都市宣言

近時 経済の進展にともなう都市交通の輻輳はいよいよ激甚となり これによる交通事故の続出は大きく社会問題化している

わが習志野市の交通事情も極めて深刻であり とくに市街を貫通する京葉国道ならびに東金街道の車両激増は市内交通の混雑に一層の拍車をかけている

このため交通事故の件数は増加の一途をたどり 人命に対する脅威はますますつのるばかりである

かかる交通禍の脅威を除き 市民生活の安全を確保するため 交通環境の改善を推し進めるとともに 市民一丸となって安全交通の自覚に徹することの急務を痛感する

よって全市民とともに安全都市の理想を達成すべく ここに習志野市を「交通安全都市」とすることを宣言する (昭和37年3月5日議決)



【制定の背景】

高度経済成長期、以前にも増して自動車が行き交うようになり、交通事故の増加が社会的な問題となりました。

本市では交通事故から市民の生命財産を守るため、交通安全に対して市民の関心を高めようと制定しました。

虐待・暴力・いじめ・差別から自身を含む大切な人を守る都市宣言 (通称) 大切な人を守る都市宣言

すべての人は、生まれながらにして持つ固有の権利である人権を尊重され、人種、国籍、信条、性別、性的指向、性自認、職業、出身、経歴、年齢、疾病、障がい、財産に関係なく、自分らしく生きることが保障されています。

わたくしたち習志野市民は、互いの多様性を認め合うことにより、虐待、暴力、いじめ、差別を無くすという強い意志を持ち、支え合える社会を、自らの手でつくりあげていくことを誓い、次のことを宣言します。

- わたくしたち習志野市民は、誰もが生まれながらに多様な存在であることを認め、自分らしく生きる権利を尊重します。
- わたくしたち習志野市民は、誰かを身体的、精神的、経済的など、いかなる方法によっても排除せず、互いを大切にします。
- わたくしたち習志野市民は、家庭、学校、職場、地域社会などあらゆる場において、みんなで協力し合い、虐待、暴力、いじめ、差別を根絶します。

(令和4年6月1日宣言)

【制定の背景】

本市では、平成26～令和7年度の基本構想で、「未来のために～みんながやさしさでつながるまち～習志野」を将来都市像に掲げ、各施策を推進し、人権侵害の無い環境づくりに努めています。

また、国連サミットで採択されたSDGs（持続可能な開発目標）では、「ジェンダー平等を実現しよう」「人や国の不平等をなくそう」「平和と公正をすべての人に」といった、虐待、暴力、いじめ、差別などの根絶に関する事項が掲げられており、本市では、子ども、高齢者、障がい者などの各分野で、いじめ・虐待の防止や被害者の保護に取り組んできました。

一方、社会の急激な変化の中で、近年、インターネット上の人権侵害、コロナ禍での差別や誹謗中傷などの課題が浮き彫りとなり、令和3年度の市民意識調査では、回答者のうち約2割の市民が人権侵害を受けたことがあると答えています。

こうした状況を踏まえ、これらの問題を市民全体で認識し、事態を解消し、市民が自分自身を含む大切な人を守るために、一人ひとりが行動すべきことを共通理解するために制定しました。

【宣言に伴う取り組み】

- 習志野市パートナーシップ・ファミリーシップ制度の導入
- いじめ重大事態未然防止に向けたタブレット端末を活用した相談アプリ導入
- 既存の各種相談窓口の周知
- 人権教育の拡充





小さなまちの
大きな教育

文教住宅都市憲章のもと、教育に力を注いでおり、学力のみならず音楽やスポーツでも優秀な成績を収めています。

1人1台のタブレット端末やデジタル教科書を効果的に活用して、児童生徒の個に応じた学習に力を入れており、AI型デジタルドリルを導入し、個別最適な学びを進めています。

さらに、ICTを効果的に活用した授業改善などに向けた実践・提案を積極的に推進し、各校の中核を担うICTマイスターの育成にも取り組んでいます。

国際理解の推進

市立小・中学校に配置されたALT（英語指導助手）により外国語を学ぶ環境を整え、充実を図っています。また、姉妹都市協定を締結した米国アラバマ州タスカルーサ市や、湿地提携に関する協定を締結した豪州ブリスベン市との交流を通じて、国際理解を推進しています。

音で引き継ぐ伝統

市立小・中学校、高校の管弦楽、吹奏楽、合唱などの部活動は、毎年全国大会で優秀な成績を収めています。また、習志野高校吹奏楽部の生徒が市立小・中学生を指導する「管楽器講座」を実施。憧れの先輩の指導を受けてめきめきと上達するとともに、伝統の音色を引き継いでいます。

学校外の多彩な学び

鹿野山セカンドスクールや富士吉田自然体験学習を通して、友達と寝食を共にし集団生活を行うことで社会性を育みます。豊かな自然の中での体験活動を通して、子どもたちの好奇心・探求心も高めています。スタッフが見守る中、放課後や夏休み等に小学校などを活用して、子どもたちの安全で安心な「居場所」を提供する放課後子供教室も整備されています。

「地域と学校が一緒になって子どもたちの教育を担っていく」という考え方のコミュニティ・スクールを、千葉県で初めて秋津小学校が採用。2023年度からはすべての市立学校で開始され、地域全体が大きな学校として教育環境を整えています。



管楽器講座の様子。受講生たちは講師（習志野高校吹奏楽部員）の指導を熱心に聞いています。



新しい文房具「タブレット」を活用した授業で、子どもたちの考える力・学ぶ力を育てていきます。



▲鹿野山少年自然の家
(君津市)



小学校4～6年生の3年間、鹿野山少年自然の家で宿泊体験学習をします。市立幼稚園・こども園の子どもたちも日帰りでハイキングに参加します。



▲富士吉田青年の家
(富士吉田市)



タブレットを使ったプログラミングも



国際交流にも力を入れています。



安全・安心

地域をさらに強靱化

安全と安心は、まちの基盤です。本市では、地域防災計画を毎年見直し、すべての避難所で総合防災訓練を実施しています。地域住民によって結成・運営される「自主防災組織」への活動支援を行うなど地域の防災力の向上に取り組み、防災情報を適切に把握するため習志野市Web版防災ハザードマップを作成しています。

2023年3月には、本市で災害が発生したときに、「どの地区でどの様な被害が起こりやすいのか」などを地区別にまとめた「地区別防災カルテ」を更新しました。

防犯意識向上のために

2005年から始まった「キラット・ジュニア防犯隊」。小・中学生が防犯意識向上のために活動し、自転車盗難を減らすために自転車防犯診断などに積極的に取り組んでおり、その活動の功績により内閣府や県から表彰されています。

また、2022年度から自主防犯活動の補完として防犯カメラを設置する地域団体(町会・自治体、商店会)に補助金を交付し、犯罪のない安全で安心なまちづくりを推進しています。

一刻も早く現場へ急行

より迅速な対応を目指して、119番受付・出場指令業務は、2021年から松戸市中央消防署内の「ちば北西部消防指令センター」へ移行しました。最新の情報通信技術で出場指令業務が効率化されるとともに、各市の連携が強化され、大規模災害などへの応援が可能となりました。

【運用地域】

松戸市・市川市・野田市・流山市・鎌ヶ谷市・浦安市・習志野市・柏市・八千代市・我孫子市

救命の輪を広げる

救命率の向上には適切な応急手当が重要です。119番通報から救急車到着までの約10分で「救命の輪」をつなぐため本市は救命講習受講率日本一を目指して邁進しています。

2021年4月に防災拠点施設として新消防庁舎が、2024年1月に消防庁舎の要となる訓練棟が開所しました。

また、消防署を身近に感じてもらうため、毎月一回消防庁舎を一部開放し、消防車両の展示やしご車乗車体験、煙体験コーナー等親子で楽しめる「消防ふれあい広場」を実施しています。



日々の訓練を通して市民の安全・安心な暮らしを守る新しい消防訓練棟。職員のアイデアを存分に生かし、より実践的な消防・救急訓練を行っています。



総合防災訓練は市民と関係機関が連携して行います。地域住民間の顔見知り以上の仲の構築の場にもなっています。



▲習志野市 Web 版防災ハザードマップ



災害に強い庁舎をコンセプトに建設された消防庁舎

【習志野消防をスタイリッシュにPR】



習志野市消防本部 PR 動画「N.F.D」▲



子どもの視点による防犯マップを作成



キラット・ジュニア防犯隊の自転車防犯診断 ツーロックがかけられているかなどを入念にチェック



利便性

市役所前から幕張本郷駅南側に繋がる道路の延伸を含む新しいまちづくりが始まっています。

さらに、2024年からJR津田沼駅周辺地域では、市民の芸術・文化活動の拠点である習志野文化ホール再建設を含む再開発が始動。2031年に新たな駅前広場・文化ホール・商業施設などがオープンする予定です。

新たな計画の始動

市役所前から幕張本郷駅南側に繋がる道路の延伸を含む新しいまちづくりが始まっています。

また、市民と来街者の利便性・回遊性の向上のため、OpenStreet株式会社とシェアサイクル事業を実施しています。

京葉道路・東関東自動車道の2つの高速道路が走り、4つのICが利用可能。幹線道路も国道14号・357号と、県道15号・69号もあり、車で出かける時も便利です。路線バスによる市内の移動も充実しています。

また、市民と来街者の利便性・回遊性の向上のため、OpenStreet株式会社とシェアサイクル事業を実施しています。

抜群の交通アクセス

本市の表玄関、JR津田沼駅から東京駅までは総武線快速で28分。東西線の乗り入れや始発電車に加え、京成線は成田空港へも乗り換えなしというアクセスの良さを誇ります。

京葉道路・東関東自動車道の2つの高速道路が走り、4つのICが利用可能。幹線道路も国道14号・357号と、県道15号・69号もあり、車で出かける時も便利です。路線バスによる市内の移動も充実しています。



健康・福祉

住み慣れた地域で

いつまでも

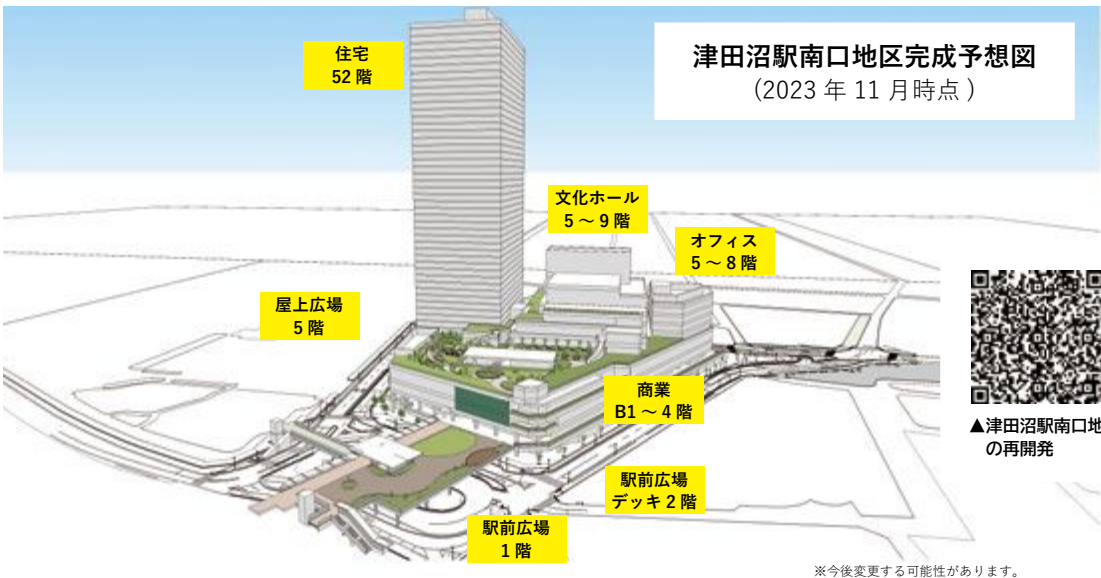
いくつになっても住み慣れた地域で、誰もが安心して健やかに暮らせるように市が一丸となって取り組んでいます。

健康長寿のカギはフレイル対策です。転びにくい身体づくりのために、本市オリジナル体操「てんとうむし（転倒無視）体操」を考案。市民ボランティア転倒予防体操推進員を中心に身近な地域で広めています。

さらに、子どもへの健康教育として、市内小学生を対象に「こども健康大学」を実施。順天堂大学とオービックシーガルズの強力タッグに、正しい生活習慣や、身体を動かすことの楽しさを教えてもらうことができます。

障がいのある人もない人も当たり前に心を通わせ、理解しあえる住みやすい社会を目指し、2016年に（通称）習志野市心が通うまちづくり条例」を施行し、啓発イベント等を開催しています。

やさしさを支えあう



てんとうむし体操には椅子編、豊編、立位編の3種類があります。



市役所のシェアサイクル専用駐輪場



電車でのアクセスも抜群



こども健康大学では、仲間と一緒に楽しく身体を動かし、充実した2日間を過ごせます。



検針員による声かけサービス



【終活を考えるエンディングノート「私の歴史帳」】

元気な時からもしもの場合へ準備する終活にも力を入れています。株式会社鎌倉新書と提携し、書き込み式のエンディングノート「私の歴史帳」を配布。自分らしく生きる後押しをしています。





市民の憩いの場「藤崎森林公園」



オオソリハシギ



カワセミ



ラバグルート



ヨハネバウロ2世

自然

谷津バラ園

谷津バラ園は、もともと1957年に同地にあった谷津遊園内のバラ園として開設されたもので、かつては東洋一とうたわれたこともありました。1982年に閉園。その後、1988年に「谷津バラ園」として開園し、現在では約800種7500株のバラが咲き誇ります。

春には大きく色鮮やかなバラ、秋には香りと深い色合いのバラが来園者を魅了。1万2600㎡ある園内には、皇室や王室ゆかりのバラを集めた「皇室・王室コーナー」、高松宮家から寄贈いただいたバラが鑑賞できる「高松宮コーナー」、春風で花びらが降り注ぐ50mもの「バラの大アーチ」などさまざまなコーナーを設置しています。また、園内はスロープが設置されており、どなたでもバラの鑑賞散策が楽しめます。

谷津干潟

かつて東京湾の奥部に存在した前浜干潟の一部で、1970年代に周囲の埋立が進む中、住宅地の中に残された野鳥のオアシスです。1993年に干潟として国内で初めてラムサール条約に登録され、2023年に30周年を迎えました。広さは約40haと東京ドーム約9個分。年間を通して多くの水鳥が飛来します。

特にシベリアやアラスカなどの北の国とオーストラリアなどの南の国を行き来するシギやチドリなどにとっては、「渡りの中継地」として重要な場所となっています。

周囲には遊歩道や観察デッキがあり、「谷津干潟自然観察センター」では水鳥の観察はもちろん、年間を通じて自然に親しむさまざまなプログラムを実施しています。将来に渡り谷津干潟を残すため、市民ボランティアや職員による清掃など保全・保護活動が行われています。

他にも本市を縦断する歩行者専用道路「ハミングロード」など、自然と調和した都市空間を創り上げてきました。



春バラ満開の谷津バラ園。多くの来園者でにぎわいます。



住宅地の中に忽然と現れる谷津干潟。遊歩道からは歩きながらバードウォッチングが楽しめます。



さまざまな体験コーナーも



谷津干潟自然観察センター▲



桜の名所「鷺沼城址公園」



香澄公園内の花菖蒲園では、明治神宮御苑から株分けを受けたショウブが咲き誇ります。



実初本郷公園にある「旧鵜田家住宅」は東金街道沿いから移築された江戸時代の建物



市制施行50周年を記念して誕生した「ローズ・50ならしの」。大輪系で鮮やかなオレンジ色が特徴です。



カインダブルー



バラの大アーチ



▲谷津バラ園

原始から近世

今から二万数千年前の旧石器時代の遺跡が第一中学校周辺の「谷津貝塚」で、縄文時代の集落の跡は「藤崎堀込貝塚」などで発見されています。奈良時代・平安時代では谷津および奏の杜周辺で大規模な集落跡が確認され、半農半漁の暮らしをしていたことを知ることができます。

鎌倉時代の歴史書「吾妻鏡」には、源頼朝が「鷲沼御旅館」に滞在していたという記述があります。江戸時代には江戸近郊の生産地として発展しました。徳川家康が東金方面へ狩りに出かける途中に藤崎を通りかかり、見事なフジの花が咲いていたので、村名に「藤咲」と名付けたといわれています。

習志野の命名

江戸時代に習志野は下野牧という幕府直轄の牧場で、明治六（一八七三）年に陸軍の練兵場となりました。この時、明治天皇が「習志野原」と命名しました。習志野という名前の由来には諸説ありますが、その一つに、明治六年に明治天皇観覧のもと、西郷隆盛の総指揮下で大規模な演習が行われ、篠原国幹少将の指揮が特に見事だったことから、明治天皇から「篠原を見習うように」とのお言葉があり、「習え篠原」から「習志野原」になったというものがあります。



明治天皇習志野之原演習行幸の図 (資料提供: 習志野駐屯地史料館「空挺館」)

秋山好古と騎兵旅団

明治三十四（一九〇二）年、日本陸軍初の騎兵第一旅団が創設され、明治三十七（一九〇四）年、「日本騎兵の父」秋山好古が日露戦争で旅団長として現在の中国に渡り、世界最強ロシア・コサック騎兵と戦い、日本陸軍を勝利へと導きました。



秋山好古顕彰碑

西郷寅太郎とソーセージ

日露戦争後、鉄道連隊が創設されました。JR津田沼駅そばにある千葉工業大学には鉄道連隊正門が残されています。

第一次世界大戦時、東習志野に習志野俘虜収容所が開設され、ドイツ兵捕虜約一〇〇〇名が収容されました。所長は西郷隆盛の長男の西郷寅太郎陸軍中佐です。寅太郎は明治天皇のはからいで、ドイツに十年以上留学した経験を持ち、人道的な対応をしました。所内では捕虜のオーケストラがベートーヴェンを演奏し、チャップリンの映画が上映され、ビールを醸造し、体育祭も開催。

この時、西郷所長の熱心な説得によりカール・ヤーンら職人がソーセージ製法の秘伝を公開し、これが農務省の講習で全国の食肉加工品業者に伝わりました。習志野が「日本のソーセージ製造発祥の地」と呼ばれる由縁です。住民との交流もあり、地元の主婦たちは洗濯物を請け負い、子どもたちは捕虜の演芸会を楽しみました。ドイツ兵が小学生にプレゼントしたポトルシップが残されています。

市指定文化財「ポトルシップ」



エトセトラ 習志野市にまつわる et cetra



習志野市、隕石つくりました

令和2年7月2日午前2時32分、隕石が本市のマンションに落下。「習志野隕石1号」と命名され、国際隕石学会に登録されました。レプリカは隕石のスキャンデータを元に3Dプリンターで造形し、精密塗装を施して制作。市役所1階で展示中です。市ホームページでは画面を操作して拡大・縮小や回転できる「3D隕石図鑑」を掲載しています。

本市では隕石を通じて、子どもたちに宇宙へのロマンと科学への興味を感じてほしいと考えています。



約52mm (133g)

習志野隕石レプリカ



▲3D隕石図鑑

習志野市のブランドメッセージ

明日に向かって新しい魅力がどんどん生まれているこのまちの魅力をもっと多くの人に知ってもらい、多くの人に「習志野っていいね!」と思ってもらえるようにブランドメッセージ「あしたのハーモニーが響くまち」を作成しました。

子どもから大人まで音楽に親しみ、自然と暮らしが調和するまち習志野を表現しています。



習志野市の名産品

令和5年3月に「ちば文化資産」に追加選定された「習志野ソーセージ」。約100年前に伝授されたレシピを元に製造されている地域ブランドです。1本約100g、長さ15cmのビッグサイズ。塩味がやや強めで、ビールとの相性は抜群です。

また、春夏にんじんの生産が盛んで、色鮮やかでクセがなく、甘さが自慢の「彩誉（あやほまれ）」は子どもでも食べやすいと評判です。



習志野ソーセージ



習志野市産にんじん「彩誉」

ダイヤモンド富士

茜浜緑道から見える、富士山の眺望は「関東の富士見百景」に選出される夕日絶景スポットです。

毎年2月と10月には、富士山頂に太陽が輝く神秘的な「ダイヤモンド富士」を鑑賞することができます。



電子ブックでもっと手軽に

スマートフォン・タブレット端末専用アプリ「カタログポケット」に「広報習志野」の電子版を配信しています。いつでもどこでも手軽に閲覧でき、記事を音声で読み上げたり、画面タップで文字が拡大する等、デジタルブックの最新機能をお使いいただけます。

また、10か国語（日本語・英語・韓国語・中国語（繁体字・簡体字）・タイ語・ポルトガル語・スペイン語・インドネシア語・ベトナム語）に対応しています。



Android用



iOS用



この冊子も電子ブックで配信中



市の木「アカシア」と市の花「アジサイ」をデザインしたロゴマーク

昭和二十九（一九五四）年、千葉県で十六番目の市として習志野市が誕生。高度経済成長の波に乗り、東京への通勤圏内であったことからベッドタウンとして発展。昭和三十（一九五五）年に三万人だった人口は、昭和四十六（一九七二）年には十万人を突破。平成二十八（二〇一六）年には人口十七万人を超えました。令和六（二〇二四）年には、習志野市制施行七十周年を迎え、首都圏の中核都市として発展を続けています。

そして明日へ